

「ひびきあい活動」講演会

令和元年11月20日
岐阜県立海津明誠高等学校

今年度の「ひびきあい活動」は、村瀬 健(むらせ たけし)先生をお招きして、「お笑い芸人に学ぶ！豊かな人間関係を築くためのコミュニケーション術」という演題で講演を行いました。ワークショップなど生徒と直接対話していただく場面が多く、心に響く言葉で話して頂きました。

生徒感想文一部抜粋



一年生

人と話す時には、人の目を見て明るい声で話せるようにしたいです。また、人の立場、気持ちを考えて話したいです。そして相手の話をよく聞いて反応し、返答する時には言葉を選びながら話し、豊かな人間関係を築いていきたいです。

普通科

ワークショップでは、「目も合わせず、うなずいてもらえない」という態度をされた時のどんな気持ちなのかを実感できました。これから人ともっと仲良くなり、好かれるようになるために、教えてくださったことを実践したいです。

情報処理科

自分から気軽にできる挨拶から始めたいとおもいました。あいづちをし、たくさん友達を作りたい、信用される人間になりたいと思えるようになりました。僕も村瀬さんみたいな話しかけやすく話しやすい人になれるよう頑張りたいです。

生活福祉科



二年生

コミュニケーション能力は小さなことの積み重ねだと感じました。挨拶をすること、あいづちを打つことだけで相手に良い印象を与え、人間関係を広く築くことができるんだとわかりました。名前を呼んで明るく挨拶ができるようにしていきたいです。

普通科

言葉の返し方で、いつも「うん」としか返していませんでした。以外にも「わかります!」「いいですね!」などいろんな種類の返し方を使うことで、相手に良い印象を与えることがわかりました。これから話し方や言葉の返し方をよく考えて使っていきたいです。

情報処理科

私は初対面の人に自分から声をかけることは、あまりしないので、コミュニケーション能力を高めるために、まず挨拶から増やせるように頑張っていきたいです。相手が楽しく話せるように意識し反応していけるようにしたいです。

生活福祉科

村瀬先生の講演を聞いて、豊かな人間関係を築くために大切なことは、3つだけだと知りました。相手の気持ちと立場を考えて会話することがまだできていないので完全に相手の話が終わってから話すこと、否定をするときは優しい言い回しをすることに気をつけたいと思います。これをきっかけにコミュニケーション力のある大人になっていきたいと思いました。

普通科

講演を聞いて、改めてコミュニケーション能力の大切さを認識することができました。先生の教えてくださったアドバイスの大半は、今まで普通に行ってきたことだったので自分の自信にもつながりました。もっと自信をもって人に接することができるよう、私ができるように思っていた「同じあいづちばかりを使わない」というアドバイスを実践してみたいと思います。

情報処理科

私は人見知り激しく、上手に会話することができないので今回の話を聞いて自分もいろんな人と交流が持てるように、自分から勇気を出して声をかけられるようにしたいと思いました。日常生活でも実践していきたいです。講話の中でワークショップもあり、周りの人と実践しながら聞くことができたのであつという間に感じました。

生活福祉科

三年生

